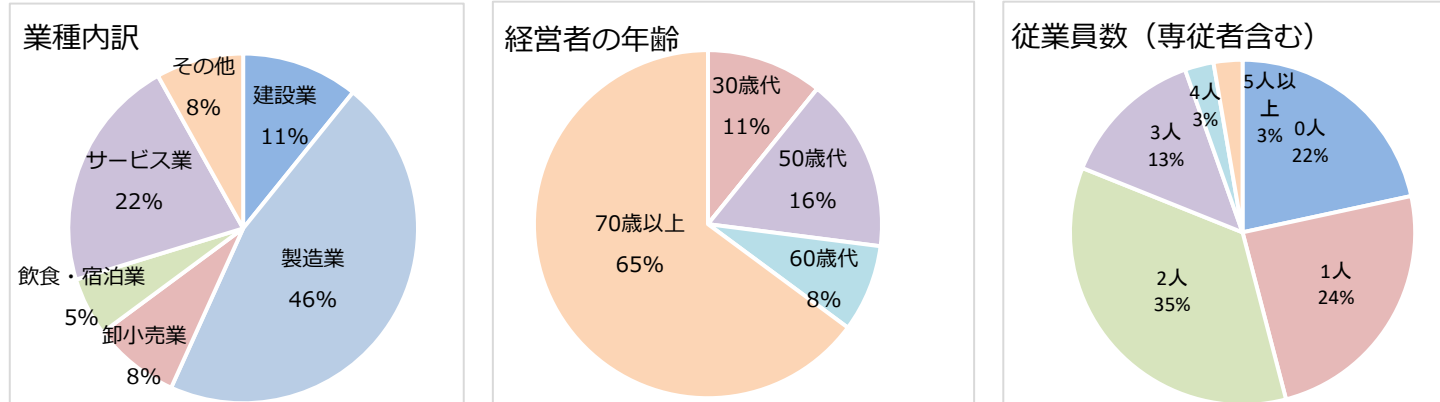


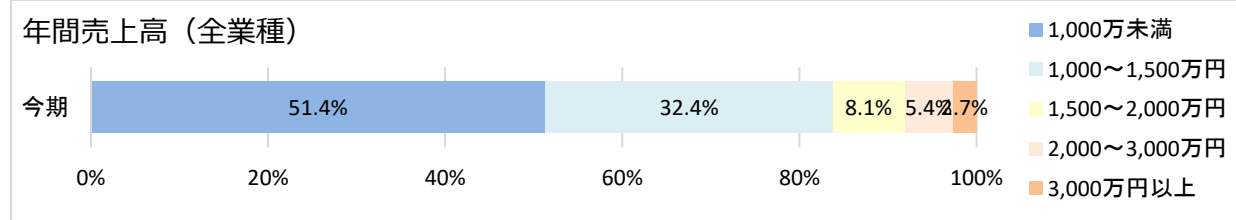
足利市坂西商工会管内 景気動向調査報告書【令和5年度】

■回答者の属性



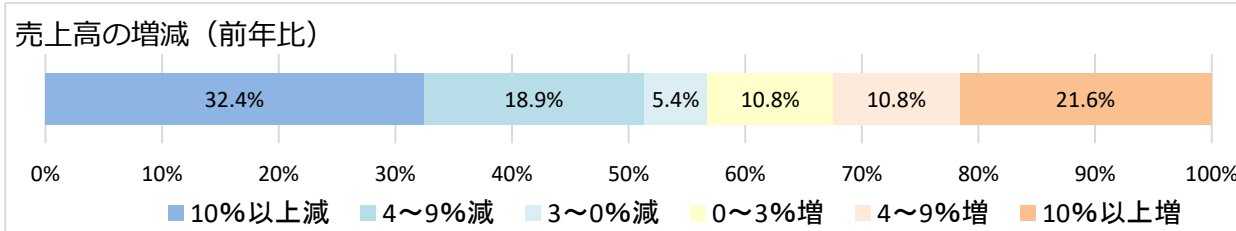
令和6年1月～3月にかけて税務申告支援を行った37事業所（建設業4、製造業17、卸小売業3、飲食・宿泊業2、サービス業8、その他3）に対し調査を行った。経営者の年齢は、回答者の65%が70歳以上と高齢化が進んでいる。

■今期の売上高



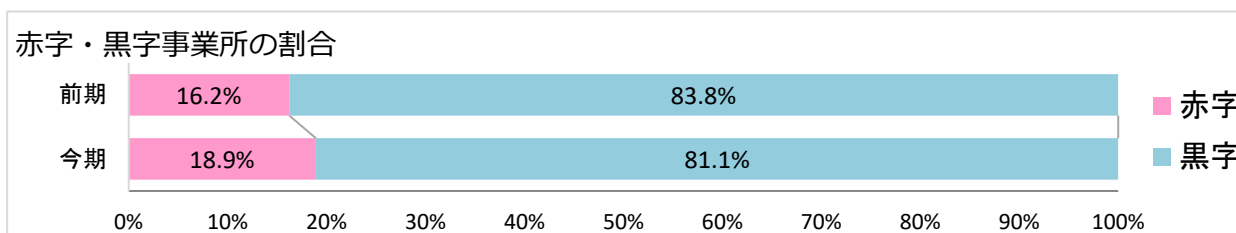
今期の売上高は、1,000万円未満が19事業所で最も多く、1,000万円～1,500万円と回答した事業所と合わせると80%超を占めた。売上高3,000万円以上は、1事業所あった。

■売上高の増減



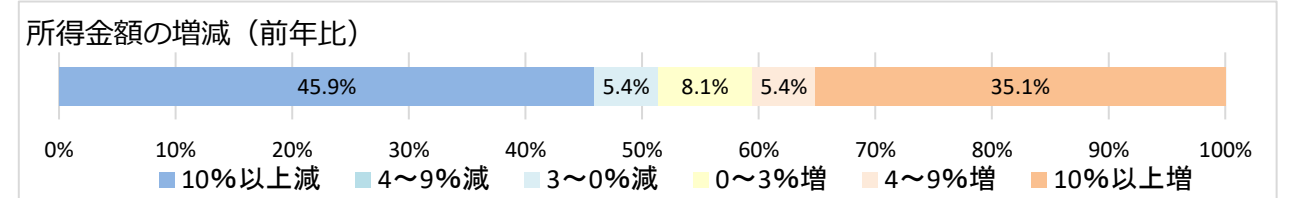
昨年に比べ売上が減少した事業所が21（56.7%）、増加した事業所は16あった。増加した事業所の半数は10%以上増と回答しており、増加と減少の二極化傾向が見られた。

■赤字・黒字の割合



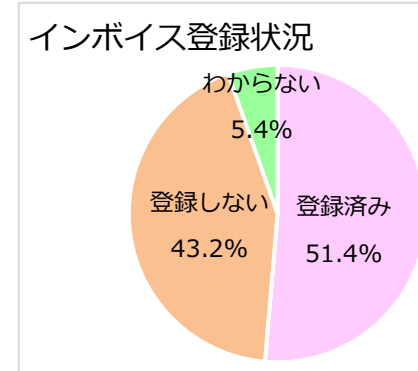
今期は赤字事業所が7事業所（18.9%）と前期の6事業所（16.2%）を上回ったものの、依然として黒字を維持している事業所が大半である。

■所得金額の増減



前年と比較して所得金額が増加したのは18事業所（48.6%）であり、減少した事業所（51.3%）の方が多かった。昨今の物価高騰が、利益を圧迫している状況が窺える。

■インボイスへの登録状況について



インボイスへ登録済みと答えたのは約半数（51.4%）で、登録しない事業所は43.2%を占めた。わからないと答えた事業所も少数あり、制度の理解と周知が喫緊の課題である。

■今後の経営課題について

第1位	インボイス対応	16
第2位	客数・客単価の引上げ	14
第3位	設備の更新	10

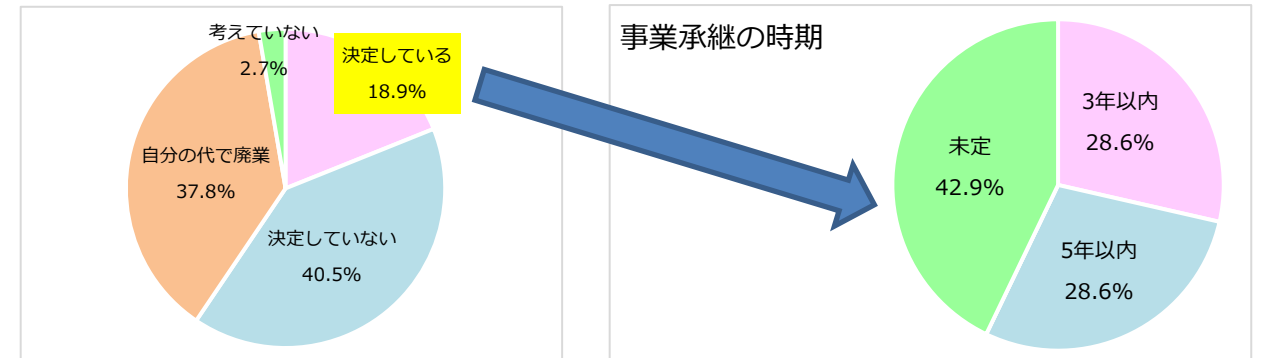
『インボイス対応』が今後の経営課題の第1位となった。具体的には、請求書への記載内容や帳簿処理、消費税納税による資金繰り悪化について懸念する声が多かった。

■経営課題解決に向けた支援策について

第1位	補助金・助成金の申請	18
第2位	インボイス対応	15
第3位	コロナ関連施策支援	12

今後の経営課題の解決に向けた商工会の支援策では『補助金・助成金の申請』が第1位となった。インボイス対応やコロナ関連施策と合わせて、適切な情報を発信していく必要がある。

■後継者について



後継者について、調査対象37者のうち決定している事業者は7社（18.9%）のみであり、事業承継支援の必要性が窺える。また後継者が決定しているものの承継時期が未定の事業所も約4割存在しており、事業承継計画の策定が急務である。